

さむくて つくって 楽しい科学

小さな飛行機に大きな発見！

7月31日（金）徳島大学高等教育センター特任助教の森口茉莉亜先生を講師にお迎えし、当館の夏休みイベント「さわって、つくって、楽しい科学」を開催しました。「よく飛び割り箸飛行機をつくろう」をテーマに、飛行機の仕組みを学びながら、みんなで飛行機づくりに挑戦しました。

森口先生は、徳島大学イノベーションプラザで行われている「ものづくり教育を通して社会貢献」の取組にも携わっておられます。また、鳥人間プロジェクトにも関わっておられ、鳥人間コンテストには今年で6年連続出場となっています。テレビでもおなじみの鳥人間コンテストのお話も交えながら、飛行機が飛び仕組みや、ものづくりの楽しさをわかりやすく丁寧に教えてくださいました。

児童は、クリップを使って垂直尾翼や水平尾翼、主翼を一つひとつ丁寧に取り付け、割り箸飛行機を完成させていきました。完成した飛行機を飛ばせ、飛び方を見ながらクリップの位置を調整するなど、それぞれに工夫する様子が見られました。飛行機がうまく飛びたびに、児童のうれしそうな笑顔が広がりました。

身近な材料を使った飛行機づくりを通して、親子や祖父母とのふれあいを楽しみながら、科学の面白さを感じる、充実した夏休みのひとときとなりました。



我が家のパシャ！



チャーハンの挑戦状

◇早くも食欲の秋、全開でも、この量はある意味挑戦状です。大盛りどころか、もはや「チャーハンの山」！？さて、完食なるか？いざ、挑戦！

今月のメッセージ

敬老の日に寄せて

敬老の日を迎え、皆さまに心からお祝い申し上げます。

好きなことをしたり、美味しいものを食べたり……。これからも元気にお過ごしください。

「今日は楽しかった」「美味しかった」と思える日が、これからもたくさんありますように。

皆さまが、穏やかで健やかな日々を過ごされますように。



編集後記

今年の夏は本当に暑かったですね。9月を迎えても、まだ暑さは続いています。暑さは続いているのに、ふとした風や朝夕の空気に、ほんの少し秋を感じる瞬間があります。暑さに頑張った体も、そろそろひと休みしたい頃ですね。

さて、9月9日は「救急の日」です。厚生労働省と総務省消防庁が救急業務や救急医療への理解と認識を深めてもらうことを目的に、1982（昭和57）年に定められました。病気やケガは、いつ起きるかわかりません。救急車の呼び方や応急手当など、いざという時に必要なことを改めて確認しておきましょう。

徳島県でも、救急車を呼ぶか、病院を受診するか迷った時に看護師等に相談できる「#7719（徳島救急医療電話相談）」があります。「これぐらいなら大丈夫」と無理をせず、迷った時は相談してみよう。

季節の変わり目は、体調も崩しやすいものです。無理をせず、体の声に耳を傾けながら、9月を過ごしましょうね。

